

MVN Studio 4.1 リリースノート

<https://www.xsens.com/download/MVN/mvnstudio41/MVN-Studio-4.1-Release-Notes.pdf>

新バージョン	■Link/Awinda共通：MVN Studio 4.1 (Link/Awinda共通) ■Awindaシステム：AW-A FW 3.0.4, AW-DNG FW 3.0.4, MTw FW 3.0.4 (Awinda) ■Linkシステム：BP FW 1.0.0, MTx FW 1.0.1
旧バージョン	MVN Studio 4.0.1 (2014年12月)
リリース日	2015/3/4
アイコンの意味	[+]追加機能、[^]変更機能、[!]注意点、[#]改良点、[-]削除機能

1. イントロダクション

今回のバージョンアップは、外部機器との同期機能のためのソフトウェアとファームウェアのアップデートリリースになります。ファームウェアアップデートは2015年3月4日以前からAwindaシステムをお使いの方が対象です。Linkシステムではファームウェアのアップデートは不要です。またリアルタイムグラフ表示やネットワークストリーマーの拡張機能など、新機能も搭載されています。

2. 主な改良点と新機能

- + リアルタイムグラフ機能
- + joint angle, center of mass, センサーデータを含むリアルタイムストリーミングデータのフレキシブルな選択
- + MVN Studio BIOMECH 4.1ソフトウェアに最適化された同期精度
- + Sync Stationハードウェアとファームウェア (Linkシステムで外部同期をお使いの方)
- + グラフへの数値表示機能
- + 階段昇降時の高さ検出機能の改善

3. バグフィックス

- # Linkシステムで、作動中にセンサーケーブルが外れるとキャリブレーション情報が見失われる問題の解決
- # セッション名に日本語を含む特別な文字の使用が可能に
- # Siemens Tecnomatixストリーマーの不具合の解決

4. マイナーアップデート

- + Motion Path機能に複数カラーをサポート、より視覚的に分かりやすく
- + セーブ/ロードレイアウトにプリセットを追加
- + 3Dビューウィンドウ内で"r"を押すことによりカメラアングルを順次切り替え
- # About MVN Studioウィンドウ内を整理
- # 出力されたファイルはMATLABサンプルコードに対応(別途ユーザー調整が必要)

5. 確認されている問題点

- ! MVN Linkハードウェアは異なるファームウェアが混在しているため、エラーの結果が一様ではない問題。
- ! MVN Studio BIOMECHにおいて、リアルタイムグラフ機能: センサーデータが正しいセグメントにアサインされていない。出力されたデータが正しい。
- ! Configure Sessionスタート時に、前回と違う構成で開始すると認識がされない問題。
ーデバイスを一度"OFF"にし、その後"ON"にすることで認識されます。
- ! Awindaシステムを使用の場合、ZigBeeトラフィックが多い場所では、与えられたチャンネルを設定できない問題。
ーチャンネルを変更してお試しください。(ユーザーマニュアルのチャンネル設定を参照)
- ! イーサネットカメラ使用時に、"Use Jumbo packets"にチェックが入っているとネットワークストリーマーにエラーが出るケースもある問題。
- ! Linkシステムを使用の場合、BodyPackの設定前にAP(Access Point)がWPSモードになってい時々通信エラーが起きる問題。
- ! MVN Studio BIOMECHソフトにおいて、Siemens Tecnomatixとのタイミングの問題。Siemensサイドでキャラクターデータが落ちてしまう場合、一度MVN Studio BIOMECH側でストリーミングを停止し再度送信が必要。